

組分けテスト

- ※ 答えは、別紙の解答らんに書き入れなさい。
- ※ 問題用紙は（その一）から（その七）までありますから、注意してください。
- ※ 字数指定のある問いは、「」や「。」も一字として数えます。

110

次の――線部を漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなはひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|---|---------------|----|---------------|
| 1 | 裁判でショウニンになる。 | 2 | 先生を食事会にマネク。 |
| 3 | 顔をシキベツする装置。 | 4 | ヒンシツの向上に努める。 |
| 5 | インショウに残るできごと。 | 6 | 家計をササエルために働く。 |
| 7 | シボウ校を決める。 | 8 | コイの反則で退場になる。 |
| 9 | 四カ国語をジザイに操る。 | 10 | 夢と現実をコンドウするな。 |

226

次の各問いに答えなさい。

問一 ⑥ 次の各文の（ ）にあてはまる外来語を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | （ ）帳を見て、予定を確認する。 |
| 2 | 理想と現実の（ ）を実感してしまう。 |
| 3 | 英語と日本語の（ ）の違いに気をつける。 |
| ア | ニュアンス |
| イ | サポート |
| ウ | ギャップ |
| エ | スケジュール |

問三 ④

次の①・②に、たがいに反対の意味を持つ漢字一字をあてはめて、ことわざを完成させなさい。

- | | |
|---|------------|
| 1 | ①は②を兼ねる |
| 2 | 帯に①したすきに②し |
| 3 | ①の心②知らず |
| 4 | ①けるが②ち |
| 5 | ①あれば②あり |
| 6 | ①さ②さも彼岸まで |

問二 ⑧ 次の各文の【 】に入る接続語が、〈例示〉

ならばア、〈選択〉ならばイ、〈補足〉ならばウとそれぞれ答えなさい。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | コーヒー、【 】、紅茶、どちらにしますか？ |
| 2 | 五時までに下校すること。【 】クラス委員は残りなさい。 |
| 3 | 【 】ケーキやカステラなどの洋菓子が好きだ。 |
| 4 | 機内食は和食【 】洋食を選べる。 |

3
57

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「ぼく」（一岳）の父はカメラマンだが、スリランカで津波に巻き込まれて、消息がわからない。

みんなどこかに行ってしまう、と思ったら、鼻のおくがつーんとした。【A】、なみだがじわじわこみ上げてきた。くもり空の下の山のりょう線が、グチャグチャとゆがんだ。

ぼくは、ひざこぞうをおでこにひつつけて、思い切り丸くなった。昨夜立ち聞きした、母さんとおばあちゃんの会話がよみがえってきた。

父さんは津波に飲みこまれて、本当に深い海の底にしずんでしまったのだろうか。行方不明ということは、限りなく生きている望みがないということなんだろうか。

① ちがう！ そんなこと、ない。

母さんが、ただ見つけられなかったただけなんだ。手がかりがないってことは、そこに父さんはもともといなかったんだ。きっと、別の場所にいたんだ。そうさ、父さんは生きていて、どこかの町にいるんだ。

ぼくは、そう思いたい。それなのに、耳の底で、おばあちゃんの深いため息が聞こえる。

「結局、健三さんは、行方不明ってことなんだねえ。困ったことになって……」

おばあちゃんのつぶやきが、頭の中でゆっくり回転を始める。

ため息もつぶやきも追いはらいたくて、父さんの笑顔を思いうかべようとした。ところが、なにかもやもやして、② あんなによくわかつて

いるはずの父さんの顔がうかばない。

どうしちゃったんだ。強く目をつぶって、「父さん出て来い」と念じた。ぼくの目のおくに確かに父さんはいるのに、こんなときに限って、先生やクラスの友達の顔がかわるがわるうかんでくる。

なんてことだ。大事な父さんの顔を、どうして思い出せないんだ、あせればあせるほど、せっかいくかんだ父さんの顔は、たちまちうすらいで、あいまいになる。

ぼくは悲しくなった。父さんは、ぼくの記憶

の中でも行方不明なのかと、胸が【B】しめつけられた。すると、もうがまんできなかった。

③ わつと、はき出すように泣いた。なみだが、ぼろぼろ落ちた。なみだは、あとからあとからあふれてくる。そして、止まらなかった。

ひざこぞうをしっぴりかかえて、湖水に向いたまま泣いた。だれも見えていないと思ったら、安心して泣けた。解決できない不安や、心配や、おそれや悲しみ、さみしさ、それから……、なにもかもいっさいがっさい、ませこぜになって、いっきにふき出してきた。

「父さん！」

無意識に、ぼくはさけんでいた。

「父さん、父さん……父さん」

言葉にできない、いろんな気持ちを「父さん」にこめて、ぼくはさけび続けた。冷たいほおが、あふれてくるなみだで、ほんの一瞬だけ温くなる。でも、そのあと、ほおは前よりもっと冷たくなった。

泣くだけ泣いたけれど、なにもさっぱりはしなかった。手ぶくろをしたまま、ごしごしと目やおをふいて、ぼくは立ち上がった。さっきより一段と強くなった風が、容しやなくふきつけてくる。体を左にひねって、風をさけた。上川大橋が、目に飛びこんできた。諏訪湖にそそぎこむ上川の河口にかかる橋だ。

④ そういえば あの日、ヨットハーバーから、ぼくらはあそこまで足をのばしたんだ。ぼくはあの日のように、橋の真ん中まで行ってみたくなった。湖水にくるりと背を向けて、自転車を止めた場所にもどった。

自転車をおして歩道を歩いた。道は右にカーブしながら、ゆるやかな上り坂になる。上りきると、上川大橋だ。橋にはランプ形の街路灯が、等間かくに一本ずつ、全部で四本立っている。街路灯のある所だけ、歩道が半円状に外側に飛び出しているデザインだ。二番目の半円状の所で、ぼくは自転車を止めた。

「一岳、こっちを向いてみる」

35

30

25

20

15

10

5

75

70

65

60

55

50

45

40

カメラを構えた父さんがここにいて、ぼくは半円の手すりに寄りかかったんだっけ。

「お、船のデッキにいるみたいだぞ。ちよっとした旅行写真だなあ」

ファインダーをのぞいて、父さんが笑った。「ここからあっちを見ると、どこかの入江みたいなあ。あの岸の向こうが、海につながっている気がするよ」

ぼくのとおりで父さんは、ななめ右前方を指さしたんだ。

「父さん、ほら槍ヶ岳。ここからも見えたね」

「ほんとだなあ。だけど、一岳の教えてくれたあの場所が、父さんは好きだな」

そして、ぼくのかたをたたいた。あの日のぼくは、その言葉がなによりもうれしかった。

雲は湖水をおおうように低く垂れこめ、すぐにでも雪になりそうだった。ぼくは手すりにもたれて、向こう岸の山が雲にとけこんで、うっすらとしたかげになっていくのをながめていた。

父さんのいったように、あの岸の先は

いきそうだと、ぼくにも今日は思えた。風が波を巻き上げて、さっきぼくがいたヨットハーバーに打ちつけている。あの場所も、今いるこの場所も、ぼくにとって、父さんにつながる特別な場所になっていた。

ここのなら、受け入れたくない現実に向き合えそうだった。ぼくは混乱したままの心を、ゆっくりゆっくり整理した。

やっぱり、父さんは帰ってこないんだ。

父さんには、二度と会えないんだ。

やっぱり、やっぱり父さんは……。

やっぱり、そうなんだ。

深く息を吸いこむと、あまりの冷たさに肺まで痛い。⑤ もうあまえるな、といわれている気がした。

これからはどんなことが起こっても、ぼくは泣いてちゃいけないんだ。父さんから留守をたのまれたからには、きちんとその責任を果たさなくちゃいけない。ぼくは長男なんだもの、今

日を限りに、父さんのことで、ぼくは泣かない。そう決めた。

なまり色の空を見上げた。風が雲を、東へ東へと、おし広げている。展望台の上の空も、【C】なまり色に変わった。ぼくはその空を、じっと見ていた。

ふいに、⑥ 父さんは行方不明なだけなんだ、と思えた。「そうだ。ただ、行方不明なだけなんだ」と、ぼくは心の中でくり返した。

このなまり色の空だって、【D】どこかで青い空とつながっているんだ。そして、その青い空の下で父さんは写真をとっていると、ぼくは信じていよう。

(加藤章子「父さんは地球儀の上にいる」〈角川学芸出版〉より)

問一⑧ 【A】と【D】にあてはまる言葉

として適切なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア きゅーと イ きつと
ウ すっかり エ とたんに

問二⑥ ——線①「ちがう！ そんなこと、ない」

とありますが、このときの「ぼく」の思いとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 自分も母さんのように父さんをさがしに行かなければならないと思っている。

イ 父さんが行方不明であっても生きていることを無理に信じようとしている。

ウ 母さんとおばあちゃんの会話は聞かなかったことにしようと思っている。

エ 何か父さんの安否を確認する方法があるはずだと思い直している。

問三⑤ ——線②「あんなによくわかってはいるはず

の父さんの顔がうかばない」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 困惑 イ 失望 ウ 後悔 エ 落胆

問四 ⑥
線③ 「わっと、はき出すように泣いた」

とありますが、「ぼく」はなぜ泣いてしまったのですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 友だちや先生が父さんの顔を思い出そうとする「ぼく」のじゃまをしたから。

イ 父さんの顔を思い出すことのできない自分が
なま 情けなくなつたから。

ウ 自分一人ではおばあちゃんのため息やつぶや
きを追いはらえなかったから。

工 自分の心の中でも父さんがいなくなってしまう
 　　ったと思いきくなったから。

問五 10
線④ 「あの日、ヨットハーバーから、

ぼくらはあそこまで足をのばしたんだ」とあ
りますか、

—「あの日」について書かれている部分はどこからどこまでですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

77 S 92 行 め	70 S 92 行 め
77 S 98 行 め	70 S 98 行 め

2 「あそこ」は、ぼくにとってどのような場所ですか。十三字でぬき出して答えなさい。

4
57
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

池の中には、顕微鏡けんびきょうを使わないと見えないほどとても小さくて、水の中をふわふわとただよう生きものもたくさんすんでいます。それらをまとめて、①プランクトンとよびます。自分で栄養えいようをつくることができる植物プランクトンと、ほかのプランクトンを食べて栄養にしている動物プランクトンにわけられます。

植物プランクトンは、自分で泳いだり、移動したりすることがほとんどできません。たくさん集まって緑のかたまりになるアオミドロや、

問六 6

に入る言葉を七字でぬき出して答

えなさい。

問七 ⑩
——線⑤
「もうあまえるな、
といわれてい

る気がした」「ぼく」は、何を思いましたか。
文章中の言葉を使って五十字以内で答えなさい。

問八 ⑥ — 線 ⑥ 「父さんは行方不明なだけなんだ、

「と思った」とありますが、この時の「ぼく」の様子として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　父さんはどこで生きているとようやく確信かくしんできている。

イ 父さんが帰ってくるという希望きぼうを持ちながら、前に進んでいこうとしている。

ウ　父さんの死をどうしても受け止めることができないでいる。

工 必かならず自分たちの手で父さんを見つけ出すと決意している。

三日月型のミカツキモなどがそうです。

動物。フランクトンでは、ミジンコやゾウリムシが有名ですね。あしや、細かい毛や、むちのようないもを動かしたりして、泳ぎまわることが出来ます。

動けない植物プランクトンを動物プランクトンが食べ、動物プランクトンを魚などが食べます。食べられた生きものは、消化されてふんとなり、池の底にそこしずみます。

大きな生きものも、プランクトンのような小

さな生きものも、かならず寿命が^{じゅみょう}つきて、池の底へしずんでいきます。

池の底では、死がいとふんが混ざります。それらを微生物が分解^{ぶんかい}することで、植物プランクトンがふえるための栄養になります。

このように、池にすむ生きものたちは、それぞれが②食う・食われるの^{かんけい}関係でつながっています。

③生きものたちは、池の中のどのあたりにすんでいると思いますか？ どこにでもいるわけではないのです。

池にすむ生きものの中には、群れをつくって外敵^{がいてき}から身を守るものがあります。でも多くの生きものには、かくれる場所が必要です。だから、かくれる場所がない池の真ん中ではなく、岸に近い^{しゅうへんぶ}周辺部にすんでいます。

そこには、水草が生えています。【ー】背^せの高いオギやヨシ、ガマ、マコモなどが入りまじるように生えていて、それをボサといいます。ボサが水中に根を張^はると、そこはかつこうのかくれがなるのです。

池の底には、ふんや死がいがいしずんでいきます。ボサの植物が枯^かれると、これらもしずんでいきます。ほかに、池のまわりの木の葉やえだ、土砂^{どしゃ}、ときには陸^{りく}にすむ生きものの死がいなどが流れこんでいきます。それらは泥^{どろ}となって底にたまるので、池はどんどん浅^{あさ}くなっていくのです。

岸^{かし}辺にも目を向けてみましょう。ボサが水中に根を張りめぐらすと、ちょうど網^{あみ}のようになります。そこには木の葉やえだ、まわりから流れこんだ土砂が引っかけたていくので、まるで池をうめたてるようになります。

なにもせずに池を放っておくと、底からも、まわりからも、どんどんうまっていつてせまくなり、すむ場所が少なくなつて生きものが減^へってしまいます。

池の中の動物のふんや死がい、枯れた植物は、

しずんでいきます。また、岸^{かし}辺や池のまわりからも流れこんできて、池の底の泥と混ざります。それらを、泥の中の微生物が、水草や植物プランクトンが育つために必要な栄養に分解します。その栄養が水の中に溶^とけだすので、④泥はとても大切です。

確^{たし}かにそうなのですが、困^{こま}ったことも起こります。その原因^{げんいん}は、⑤泥が池の外に出ていかな^い、ということです。

池の中では、泥から溶けだした栄養で、植物プランクトンがふえていきます。そのようすは、池の水の色でわかりますよ。落ち葉やえだなどが分解された栄養がしみでくると、茶色くなります。やがて、その栄養で植物プランクトンがふえてくると緑色に見えてきます。よく観^{かん}察^{さつ}すると、水の中に緑色のつぶつぶがたくさん浮^うかんでいるのがわかります。

いっぽう、溶けだす栄養が少ないと植物プランクトンがあまりふえないから、水はほとんど透^{とう}明^{めい}になります。

【2】植物プランクトンがふえると、それを食べる動物プランクトンがふえます。

このようにしてどんどんふえたプランクトンは、呼^{こきゅう}吸^{しゅう}して、水中の酸^{さん}素^そをたくさん使います。泥の中からも酸素が水中に溶けだしますが、プランクトンはそれらも使うから、池の中の酸素がますますたりなくなつてしまいます。

また、泥の中の微生物たちも酸素がなくなると、生きていけません。ふんや死がい、枯れた植物などが残^{のこ}ったままとなり、池の中の状^{じょう}況^{きやう}はどんどん悪^{わる}くなつていくのです。まるで、とてもよごれた空気の中にわたしたちがいるようなものです。

自然^{しぜん}のままの川では、 が起きるたびに、川のまわりの池がなくなつたり、新たにできたりしました。【3】池の底に泥がたまりつづけることはありません。

55

50

45

40

35

30

25

60

65

70

75

80

85

90

95

昔の日本では、3年から5年に一度くらいの割合で、稲作が終わった冬から春にかけて、農業用の池の水をぬいていました。泥の中の余分な栄養を流しだしたり、底にたまった泥を太陽に当てて干し、酸素を入れたりするためです。

100

池の水をぬくと、フナやコイ、タナゴなどの魚がとりやすくなるので、食料にしています。かいぼり漁といっています。

【4】稲作のために池を利用することが少なくなり、水ぬきをすることがほとんどなくなりしました。また、人間の手で管理しやすくなるために、池の岸をコンクリートで固めたりしました。底には泥がたまるいっぽうで、水中の状況は悪くなるばかりです。

105

しかし池には、たくさん生きものがすんでいます。もともとは、自然の川や池にいた生きものです。ときどき起こる洪水で、池の泥はたまりつづけることがなく、水も入れかわるようになかで、命をつないできました。それなのに今の池は、まったく反対の状況になっています、もう、わかりましたね。

115

池の水をぬくということは、人工的に起こすようなものです。もちろん、実際に起こすわけではありません。池の中の環境が悪くなったときに、古い泥を流しだしてきれいにする洪水と同じ効果を、生きものたちのために人の手で起こすわけです。

120

それが、⑥池の水ぬきのほんとうの目的なのです。

（安斉俊「池の水なぜぬくの？ 外来種を探すだけではない」ほんとうの理由）へくもん出版より）

問一

【1】【4】にあてはまる接続語

を次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア ところが イ だから
ウ そして エ また

問二——線①「プランクトン」とありますが、プランクトンを通して、筆者が述べたいこととして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 池に住む生きものたちは、食う・食われるという関係でつながっているということ。
イ 食べられた生きものは、消化されてふんとなり、地の底にしずむということ。
ウ すべての生きものは、かならず寿命がつきて池の底へしずんでいくということ。
エ プランクトンには、植物プラントンと動物プランクトンの二種類がいるということ。

問三

——線②「食う・食われるの関係」とありますが、「食う」側に入らないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ゾウリムシ イ 魚
ウ ミカヅキモ エ ミジンコ

問四

——線③「生きものたちは、池の中のどのあたりにすんでいると思いますか？」とありますが、多くの生きものはどこにすんでいるのですか。そこにどのような特徴があるのかもふくめて、文章中の言葉を使って三十字以内で答えなさい。

問五

——線④「泥はとても大切です」とありますが、なぜですか。次の説明の□に入る言葉をそれぞれ指定の字数でぬき出して答えなさい。

- ・池の底の泥の中の□A 三字が、動物のふんや死がい、枯れた植物などを水草やプランクトンを育てる□B 二字に分解してくれるから。

問六⑥——線⑤「泥が池の外に出ていけない」とありますが、出ていかないとどうなってしまうのですか。適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア いろいろなものが流れこむことでせまくなり、すむ場所が少なくなり生きものが減ってしまう。
イ 植物プランクトンが増えなくなり、水の色が緑色にならず透明のままになってしまう。
ウ プランクトンがふえて酸素が不足し、池の中の生きものが生きていけない悪い状況になる。
エ 水草や植物プランクトンが育つための栄養素を分解することができなくなってしまう。
オ 人間が池全体を管理することができなくなり、池の底をコンクリートにしなければならなくなる。

問七⑤二つの （92・117行め）に共通して入る言葉を漢字二字でぬき出して答えなさい。

問八⑩——線⑥「池の水ぬきのほんとうの目的」とは何ですか。文章中の言葉を使って四十五字以内で答えなさい。